



# 会計の頂点がここにある。会計心をもった超会計人を目指せ!

## [ごあいさつ]

### Greeting



研究科長

三島 徹也

関西大学会計専門職大学院は、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計専門職業人」を養成することを目的としています。

これは単に知識としての会計を学習するだけでなく、豊かな会計センス、高度な判断・思考能力、その他会計専門職業人としての職業倫理をも修得し、さらには、財務・IT・行政・経営・法律等の個性ある得意分野を身につけることを意味します。

私たちは、これらを身につけた「会計心をもった超会計人」として、監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人(MBA in Accountancy)を養成します。

そこで、本会計専門職大学院では、多彩なカリキュラムを用意し、各科目系統に基本から応用、発展へと段階的な学習ができる科目を配置、さらには、個性を伸ばす個別演習科目である各種ソリューションを置いています。

また、学生が自分の進路や学習スタイルに応じて3つのコースの中から選択できるコース制を設けていますので、明確なキャリア設計のもとで学習することができます。他にも、学生がいつでも学習できるように、24時間体制の自習室や専用の図書資料室を用意しています。

現在、皆さんの先輩が公認会計士をはじめとして各方面で活躍しています。

皆さんも私たちと一緒に関西大学会計専門職大学院で夢のある将来を見つけませんか。

私たち教職員は、皆さんの夢の実現のために最大限の努力をします。

## [設置の理念]

### Policy

本学の理念としての「学の実化(じつげ)」、およびこれを具体化した柱のひとつ「学理と実務との調和」に受け継がれ、「開かれた大学」「情報化社会への対応」「国際化の促進」の3本柱として継承されています。会計専門職大学院は、会計領域における「学理と実務との調和」を結実させるものなのです。

世界標準の会計や監査へ向けて日本の制度の見直しが進む中、日本の公認会計士にも世界標準での活躍を期待できるよう、その資質、特に会計・監査の実務的かつ理論的な能力が要求されています。関西大学会計専門職大学院では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」の養成を第一の目的とし、かかる資質をそなえた超会計人を養成します。そして、それだけにとどまらず、企業や官公庁からの要請に応じた会計人の養成をも目的として、「監査界」、「産業

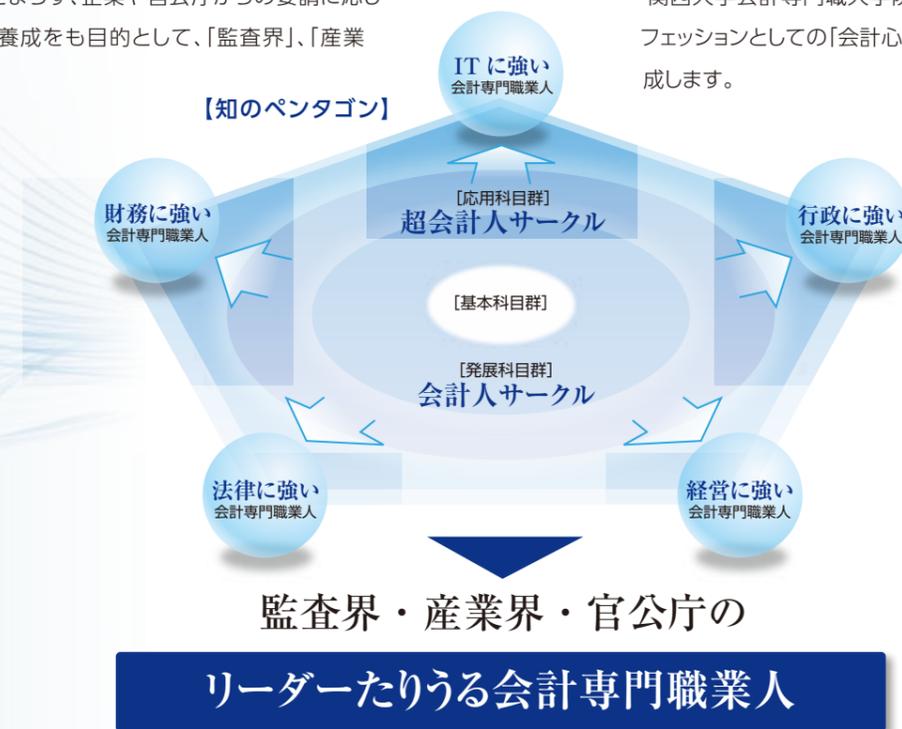
界」、「官公庁」のリーダーたりうる会計専門職業人の養成を目指しています。

関西大学会計専門職大学院では、社会的要請を受け、会計・監査・財務サービスの高度化・拡大への対応のため、「会計人となるための水準の確保」と「公益を意識した職業倫理観の醸成」する教育を行います。

「超会計人」とは、理論と実務に習熟し、自分の特長を生かして得意分野をもった、競争に勝てる会計専門職業人のことをいいます。そして、「会計心」とは、専門の会計職業人としての職業倫理観および豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を持ち合わせた健全な精神のことをいいます。

関西大学会計専門職大学院では、一歩進んだプロフェッションとしての「会計心をもった超会計人」を養成します。

Graduate School of Kansai University,  
School of Accountancy



名称 関西大学大学院 会計研究科 会計人養成専攻(専門職学位課程)  
(英訳名) (Graduate School of Kansai University, School of Accountancy Major of Accountancy)  
通称 関西大学会計専門職大学院  
関西大学アカウンティングスクール  
設置形態 専門職大学院  
学位名称 会計修士(専門職)  
(英訳名) (Master of Business Administration in Accountancy)

入学定員 70名(収容定員140名)  
教員スタッフ 専任教員13名  
(うち、研究者教員8名、実務家教員5名)  
兼任教員 3名 兼任教員 49名  
授業形態 昼間開講  
修業年限 2年(長期履修学生制度あり)  
修了所要単位 54単位  
履修制限単位 36単位(1年間)

## Contents

ごあいさつ	2	PAIBコース	10	教員スタッフ	20
設置の理念	3	RPコース	12	教育顧問・客員教授	23
トピックス	4	導入科目群科目	13	入試概要	24
カリキュラム	6	サポート体制	14	学費・諸費/奨学制度	26
コース制紹介	7	施設紹介	16	アクセスマップ/キャンパスマップ	27
PAコース	8	公認会計士試験合格者座談会	17		

## 関西大学会計専門職大学院の

# 7つの大きな魅力。

### 1 キャリア設計に適した 100を超える開講授業科目数

皆さんの進路・ニーズに応じて会計から法律・経営・ファイナンスに至るまで幅広く、さらに、基本→発展→応用と自分のレベルに応じた学習が可能です。講義のみならず、実践・演習といった授業形式も多様に展開しています。

▶P.6参照

### 2 会計専門職大学院独自の インターンシップ制度

PAコースから監査法人へ、PAIBコースから企業へと、皆さんの進路に合わせたインターンシップを展開しています。また、インターンシップは授業の一つとして単位認定されます。いずれも本会計専門職大学院独自のプログラムです。

▶P.8、10参照

### 3 主要講義の動画配信 —理解できるまで何度でも—

皆さんにとって重要な講義科目は、復習するため、そしてしっかりと理解するため、授業終了後に動画を配信しています。また、何度でも繰り返し視聴することができます。



▶P.14参照

### 4 さらに学習を サポートする課外講座

充実した授業内容に加えて、皆さんのニーズに応じた課外講座があります。在学生・修了生を問わず、公認会計士試験や日商簿記1級試験等の対策ができます。[スキルアップ講座・CPA資格取得支援プログラム]

▶P.14参照

### 5 各種試験に対応

本会計専門職大学院は、公認会計士試験はもちろん、公認内部監査人(CIA)、U.S.CPA、税理士、国税専門官、財務専門官、ファイナンシャル・プランナー(FP)、プライベートバンカー(PB)、その他簿記や会計に関する検定試験等各種試験にも、広く対応しています。

▶P.14参照

### 6 最適な学習環境

#### —24時間自習室利用—

快適な環境で、自分のペースで学習ができます。早朝から学習するのも夜遅くまで学習するのも自分の生活スタイルに合わせることが可能です。



▶P.16参照

### 7 充実の奨学制度

学費は将来の自分への投資です。本会計専門職大学院は、できる限りこれを支援します。高度な資格取得者や成績優秀者に対する給付奨学金から貸与奨学金に至るまで、豊富な奨学制度を用意しています。

▶P.26参照

# カリキュラム

Curriculum

## 思考をデザインする～右脳に響く会計心～

本会計専門職大学院では、以下のようなカリキュラム体系を用意しています。  
 タテ系として、導入科目群・基本科目群(会計専門職のための導入教育)、発展科目群・応用科目群(会計専門職としての実務適応教育)。  
 ヨコ系として、Basic Skills(財務会計、管理会計、税務会計、監査)、Advanced Skills(法律、経営、ファイナンス、行政、経済・IT)。  
 そして、学生の幅広い個々のニーズに応えるための個別演習科目(学習・進路指導)、横断科目、修士論文科目およびインターンシップ科目を用意しています。

<2016年度入学生適用カリキュラム>

系統	導入科目群	基本科目群	発展科目群	応用科目群		
Basic Skills	財務会計系	中級商業簿記 上級簿記 上級財務会計論	会計基準論 会計制度論 財表作成簿記 国際会計基準論 国際会計制度論	会計事例研究 IFRS 実務 会社経理実務 ディスクロージャー実務	英文会計論 会計戦略論 資産会計論	負債・資本会計論 企業結合会計 国際会計事例研究
	管理会計系	中級工業簿記 上級原価計算論 上級管理会計論	戦略管理会計論 企業分析論	コストマネジメント論 管理会計事例研究	企業価値マネジメント論 マネジメント・コントロール・システム論 国際管理会計事例研究	
	税務会計系		上級税務会計論 租税法会計論	上級税務戦略論 税務会計事例研究	国際税務戦略論 国際税務会計事例研究	
	監査系	監査制度論 監査基準	監査実施論 監査報告論	国際監査制度論 監査事例研究	会計検査制度論 保証業務論 内部監査論	不正摘発監査論 国際監査事例研究
Advanced Skills	法律系	企業法	商法 会社法 民法(総則・物権) 金融商品取引法	上級会社法 租税法理論 民法(債権) 企業法判例演習	法人税法	
	経営系		経営学理論 経営戦略論	経営組織論 起業・株式公開事例研究	プロダクト・マネジメント論 国際経営論	企業再生事例研究
	ファイナンス系		インベストメント論 コーポレート・ファイナンス論	資本市場論	中小企業金融論 リスク分析論	国際財務戦略論
	行政系		公会計論	公監査論	行政法	公会計・公監査事例研究
	経済・IT系		ミクロ経済学 統計学 マクロ経済学 基本会計プログラム演習	基本監査プログラム演習 BATIC 演習 実践会計プログラム演習 実践監査プログラム演習	実践コミュニケーション 公共経済学 XBRL 論 国際コミュニケーション論	
横断科目		会計専門職業倫理	会計専門職業数学		特殊講義(各テーマ)	
個別演習科目			ソリューション・イン・アカデミック ソリューション・イン・プロフェッショナル ソリューション・イン・エキスパート			
修士論文科目			論文指導・修士論文(基礎)		論文指導・修士論文(実践) 修士論文	
インターンシップ科目					プロフェッショナル・インターンシップ・イン・アカウンティング・ファーム プロフェッショナル・インターンシップ・イン・ビジネス	

※青字は実践科目

- ・修了に必要な単位数 所属するコースにより修了要件が異なり、以下の科目を含めて54単位以上を修得しなければなりません。
  - 1 Professional Accountant (PA) コース
    - ①基本科目群…会計専門職業倫理、上級簿記、上級財務会計論、上級原価計算論、上級管理会計論、監査制度論、監査基準、企業法 8単位
    - ②発展科目群…実践科目6単位以上を含めて24単位
    - ③応用科目群…実践科目2単位以上を含めて12単位(ただし、プロフェッショナル・インターンシップ・イン・ビジネスは含まない。)
  - 2 Professional Accountant in Business (PAIB) コース
    - ①基本科目群…会計専門職業倫理、上級簿記または上級財務会計論、上級原価計算論または上級管理会計論、監査制度論または監査基準、企業法 5単位
    - ②発展科目群…実践科目8単位以上を含めて24単位
    - ③応用科目群…実践科目4単位以上を含めて12単位(ただし、プロフェッショナル・インターンシップ・イン・アカウンティング・ファームは含まない。)
  - 3 Research Paper (RP) コース
    - ①基本科目群…会計専門職業倫理、上級簿記、上級財務会計論、上級原価計算論、上級管理会計論、監査制度論、監査基準、企業法 8単位
    - ②発展科目群…論文指導・修士論文(基礎)2単位を含めて24単位
    - ③応用科目群…論文指導・修士論文(実践)および修士論文計8単位を含めて12単位(ただし、プロフェッショナル・インターンシップ・イン・アカウンティング・ファームおよびプロフェッショナル・インターンシップ・イン・ビジネスは含まない。)
- ・履修制限単位 1年間36単位  
(ただし、導入科目群科目およびプロフェッショナル・インターンシップ・イン・アカウンティング・ファーム、プロフェッショナル・インターンシップ・イン・ビジネスは含まない。)
- ・単位数 導入科目群・基本科目群科目は各1単位、「論文指導・修士論文(実践)」および「修士論文」は各4単位、その他の科目は2単位

# コース制紹介

Course

## 多様なキャリアパスへの対応～コース制～

公認会計士をはじめとした、皆さんが目指すそれぞれの将来の目標に、より柔軟に対応するために、  
**Professional Accountant (PA) コース**、**Professional Accountant in Business (PAIB) コース**、**Research Paper (RP) コース**の  
 3コースを設置しています。  
 なお、コースの選択は、1年次春学期終了後に行い、1年次秋学期からコース分属を開始します。  
 また、一度選択したコースを学期ごとに変更することも可能です。



## 関大ASで公認会計士を目指す

高度な資格に基づく会計専門職業人を目指す学生に最適なコースです。

資格取得に必須となる理論的知識、そして資格取得後に有効な実務的な能力の修得をサポートします。

### 講義紹介

#### 上級簿記

上級簿記では、個別財務諸表の作成に関する会計処理を中心に学習します。例えば、税効果会計、金融商品会計、外貨換算会計、リース会計、退職給付会計など、個別企業の会計処理を取り扱います。連結財務諸表の作成等については、財表作成簿記という講義がありますので、そちらで学習します。

本講義で大切にしていることは、計算問題として解くのではなく、しっかりと仕訳することです。なぜなら、「簿記」というのは、帳簿に記録することを意味するからです。企業は日々の取引を帳簿に記録しておくことで、財産の変動や経営の状況を管理しています。その記録を集計して財務諸表が作成・開示され、企業を取り巻く人々の行動に影響を与えます。

簿記といえば、会計系の国家試験や検定試験をイメージする人が多いと思いますが、簿記は実学で単なる計算問題ではありません。会計のプロになるという皆さんの目標に向かって、会計心を養うつもりで勉強しましょう。

#### インターンシップ制度

本会計専門職大学院ではインターンシップ・プログラム委員会を設置し、監査法人インターンシップを実施しています。2014年度からは、正課科目としてインターンシップ科目を設置しています。学生は実習前に事前授業を受け、実習後には業務日誌および実習報告書を提出します。その後、事後授業および新入生のオリエンテーション時にその成果を発表します。

#### 監査法人インターンシップ

2007年度より毎年、会計大学院協会の主催により、将来、監査法人に勤めたいと思う学生を対象に、監査法人でのインターンシップを実施しています。毎年2月下旬に東京や大阪の監査法人に赴き、3～5日間の日程で模擬監査や工場見学を体験します。毎年5名程度の参加者がいます。参加者については、成績等を勘案して学内で選考を行い、その後、会計大学院協会に推薦し、改めて会計大学院協会で選考され決定します。受入法人は、有限責任あずさ監査法人、新日本有限責任監査法人、有限責任監査法人トーマツ、あらた監査法人です(2009～2015年度実績)。

#### 監査制度論

監査の基準を設定しないといけない理由は?その公表の必要性は?なぜ株式会社はその規模にかかわらず、会計監査が強制されるのでしょうか?このような疑問に対して、説得力のある解答を論理的に用意できるでしょうか。

本講義では、我が国の金商法監査と会社法監査という2つの法定監査の趣旨・内容と共に、そこで適用される監査の基準の詳細を学習します。法定監査や監査の基準の規定を知っているのは当然のこととして、その背景となる各種の事件や歴史的・社会的・経済的背景を知ることがプロとして必須です。単に「法規や会計基準・監査基準に〇〇と書いてあるから」というのはプロではありません。制度や基準の趣旨を理解し、新規や未知の困難な事態でもプリンシプル・ベースで専門的判断を行使し的確に対応できる監査人とならなければなりません。本講義は基本科目として、高度な思考力と発言力を備えた職業会計士となるための教育を目標とします。



監査法人インターンシップ体験談

**富原 翔大** さん 1年次生/PAIBコース  
【インターンシップ先】有限責任あずさ監査法人 大阪事務所  
【実習期間】2016年2月17日～19日(3日間)

日ごろ学んでいる監査論が、実務ではどの様に適用されているのかを身をもって体験したいという探究心と、「監査法人」というものについて自身の目で見て確かめたいという動機から、あずさ監査法人のインターンシップに参加しました。

インターンシップでは、証拠突合の仕方、実査・確認、棚卸立会など、具体的な監査手続の進め方についてロールプレイを交えながら教えて頂きました。監査には理論だけでなく、様々な分野の知識やクライアントの担当者から必要な情報を聞き出すためのコミュニケーション能力が重要だと感じました。

他の監査法人のインターンシップに参加した同級生から聞いた話では、そこまで実習内容に差はないように思いますが、実際に監査法人に身を置くことで、各法人の方針、事務所全体の雰囲気・風潮といったものを感じることができました。

オフィスツアーや事務所説明会では味わうことのできない「監査法人」を知ることができるインターンシップに、皆さんもぜひ参加してみてください。

※プロフィールの学年・コースは取材時のものを掲載しています。



公認会計士関大会  
会長 酒井 清

#### 公認会計士関大会からのメッセージ

公認会計士関大会は、関西大学の卒業(修了)生を中心に公認会計士試験に合格された方々およそ400名の会員で構成される組織です。当会は、会員相互の連携や懇親のほか、関西大学のさらなる発展にも貢献したいとの思いをもって運営しています。

現在、公認会計士という職業専門家に寄せられる経済社会の期待は大変大きくも厳しいものがあり、クライアントのニーズに応えるだけでなく、その期待を大きく超える高度な専門的サービスを提供することが求められています。こうした高度で実践的な専門的能力を養ってくれるのが関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)だと思います。

我々公認会計士にとって、関西大学との連携を考える中で、もっとも身近な存在の一つである本学ASの修了生の進路や仕事の悩みについても、積極的に相談のっていきたくて考えています。ぜひ、本学ASで厳しく鍛えられて、社会に貢献されることを期待しています。

### ピックアップ講義

#### 上級財務会計論



富田 知嗣 教授  
研究者教員

財務会計とは、投資家、株主や貸付を行う者などの企業外部の人に、企業が自身の財政状態や業績を金額数値に表した各種一覽表(財務諸表)を示すための会計を言います。この財務諸表を作成するためのルールを会計基準といい、会計基準は、社会的・経済的背景や財務諸表利用者の要望の変化に合わせて、変化しています。その変化は、今やグローバルな動きとも連動しています。そのため、現在の日本の証券市場では、日本の会計基準、米国会計基準、国際財務報告基準(IFRS)、修正国際基準(JMIS)の4つの会計基準の適用が認められています。これらの会計基準を理解するためには、これらの会計基準の背後にある、財務諸表への考え方や財務諸表利用者の利用方法の想定を理解することが重要となります。上級財務会計論では、企業会計原則、財務会計の概念フレームワーク、IFRSの概念フレームワークを題材に、それぞれの会計基準の背後にある考え方を学んでいただけます。その考え方が理解できれば、それぞれの会計基準の特徴がわかり、個別具体的な会計基準が理解しやすくなります。

#### PAコース履修例

<2016年度入学生適用カリキュラム>

	Basic Skills				Advanced Skills	横断・個別演習・修士論文・インターンシップ
	財務会計系	管理会計系	税務会計系	監査系		
基本 科目群	上級簿記 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論		監査制度論 監査基準	企業法	会計専門職業倫理
発展 科目群	会計基準論 会計制度論 会計事例研究 ディスクロージャー実務	戦略管理会計論 企業分析論 管理会計事例研究	上級税務会計論 租税法会計論 税務会計事例研究	監査実施論 監査報告論 監査事例研究	会社法 金融商品取引法 経営学理論 資本市場論 マクロ経済学 基本監査プログラム演習 実践監査プログラム演習	ソリューション・イン・アカデミック ソリューション・イン・プロフェッショナル ソリューション・イン・エキスパートタイズ
応用 科目群	資産会計論 負債・資本会計論 国際会計事例研究	企業価値マネジメント論 国際管理会計事例研究		保証業務論	法人税法 企業再生事例研究	プロフェッショナル・インターンシップ・イン・アカウンティング・ファーム



黒嶋 啓太  
1年次生/PAコース

私は、学部時代から取り組んでいる公認会計士試験の勉強をするために、関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)へ進学しました。コース選択では、公認会計士を目指すコースということでPAコースを選択しましたが、本学ASにおけるコースのとりえ方としては、本コースに入って公認会計士を目指すというよりも、むしろ公認会計士を目指す人が本コースに集まる、という感覚に近いと感じています。本コース生専用の自習室には、それぞれのキャレリに公認会計士試験対策のテキストがびっしり並んでいるなど、勉強できる環境が整っているのも魅力の一つです。

私が入学後改めて感じたことは、本学ASが、会計を本質的に理解するための場所であるということです。本質的な理解というのは、今まで知らなかったことを知ること以外にも、例えば、これは知っていたつもりだったけど、実はこんなに奥が深かった、あるいは、今まで断片的な理解だった知識と知識が思いがけないところでつながった、ということです。こういった経験ができたときには、同時に理解できた快感や嬉しさが伴い、それがモチベーションUPにもつながります。

とことん時間をかけて会計を学び、本質的に理解して感動を得るというのは、本学ASでしかできない経験であり、また、強みであると思います。同じ会計の勉強をするのであれば、本学ASでその感動を味わってみたいはいかがでしょうか。

※プロフィールの学年・コースは取材時のものを掲載しています。

## 関大ASで企業人や公務員等を目指す

企業や公的組織の経営管理を行うために必要な会計の理論と技術を習得するためのコースです。経理担当者を目指す学生に加えて、管理職を目指す学生にとっても最適です。

### 講義紹介

### 実践会計プログラム演習

実務に役立つパソコンスキルの習得を目指すのが本講義です。財務会計ソフト(勘定奉行)を活用し、会社の登録と初期設定を行い、取引データを入力し、総勘定元帳、試算表から決算書までを作成します。入力したデータは、Excel等にダウンロードし、経営分析、事業計画の作成等に活用するとともに、仕訳テストという監査手法も実践します。また、模擬会社の売掛データや在庫データから在庫や売掛債権等の年齢調べや滞留状況等の分析作業を行い、異常性の着眼点について討論します。あわせて、EDINETやHP等を通じ、ビジネスに必要な情報収集や活用策についても指導します。

1人1台のパソコン環境を活用し実践的な会計テクニックを身につけてもらうのが大きな目的です。

### 企業インターンシップ

2013年度より、企業会計に関心のある学生を対象に「経理職に特化した」企業インターンシップを実施しています。一般的なインターンシップ制度とは異なり、経理職限定のインターンシップは他に例がなく、本会計専門職大学院独自の科目です。参加者は、8月下旬に企業の経理部門にて、1～2週間の日程で、経理業務や生産ライン等の研修を受けることになります。参加者については、成績等を勘案して学内で選考し、決定します。

2015年度受入企業(実績)
株式会社オートバックスセブン
株式会社カネカ
株式会社テクノアソシエ
住友商事フィナンシャルマネジメント株式会社
住友精化株式会社
住友理工株式会社(旧 東海ゴム工業株式会社)

### インベストメント論

学習到達目標は、「企業のCFOまたは財務担当者を想定し、その立場の人間が管理のために必要な知識と考え方を身につけること」です。本講義は、ミクロ経済学の一分野である金融経済学から発展した学問です。証券投資を中心とする理論と実務を体系化したもので、数学を多用しています。そのため、文科系の人間には取っ付きにくいのですが、企業のCFOや財務担当者に求められるのは、正しい意思決定を行うために必要な知識であり、詳細な理論ではありません。本講義では、数学的なところは横に置いて、投資にかかる実務、その中でも証券投資の概要とその管理に焦点を当て、教科書(の必要な部分)を読み進めていきます。

なお、本講義は、公益社団法人日本証券アナリスト協会が実施するプライマリー・プライベートバンカー資格試験の一部免除の対応科目となっています。



#### 企業インターンシップ体験談

**岡田 朋之** さん 1年次生/PAIBコース  
【インターンシップ先】住友商事フィナンシャルマネジメント  
【実習期間】2015年8月24日～28日(5日間)

私が住友商事フィナンシャルマネジメントをインターンシップ先として選んだ理由は、これまで学んできた会計の知識がどこまで実務において役立つのか、通じないとすれば自分に何が足りないのかを知るためです。また、住友商事フィナンシャルマネジメントが、これから日本でますます影響力を増してくるであろう国際会計基準をいち早く導入していた企業であるということも大きな理由です。

インターンシップでは、初めに、社員の方々から実際に受ける研修の内容をマンツーマンで教わりました。その範囲は有価証券の減損やリース会計、国際税務など幅広く、経理にかかるほぼ全ての範囲を学ぶことができました。また、大阪にある倉庫や工場に行き、実際の物流と経理の関係を具体的に知ることができたことは、非常に楽しく貴重な経験でした。実務においては、会計の知識を持っているだけでなく、理解し応用することが重要だと痛感し、自分の今後の学びの姿勢を改める良い機会となりました。

※プロフィールの学年・コースは取材時のものを掲載しています。



島崎 憲明 先生

### 住友商事株式会社 元副社長(本会計専門職大学院客員教授)からのメッセージ

日本の企業は会計人材を新卒から自前で育成してきましたが、近年、変化が見られます。企業内での養成に加え、公認会計士資格保有者や高度な会計スキルを持つ人材のキャリア採用、企業からの会計専門職大学院派遣等が増加しています。これは企業活動の国際的拡がりによって、高度な会計知識と経験を必要とする複雑な事業の増加が背景にあります。企業が会計人材に求めるのは、財務諸表作成等日々の経理実務を行うための会計・税務知識から、経営上の課題を財務諸表から読み解き、経営資源の最適配分により企業の持続的成長を促す高度な会計力まで、その幅は広いです。会計専門職大学院で学ばれている皆さんが一人でも多く、企業の最前線で活躍することを願っています。

### ピックアップ講義

### 会計事例研究



田中 久美子 特別任用教授  
実務家教員:公認会計士

財務諸表は企業の財政状態および経営成績等を表す非常に有用な情報です。株主や投資家の意思決定に資するだけでなく、取引先の信用状況の確認等にも利用され、一般企業の経理担当はもちろんのこと、営業や企画担当であっても財務諸表を分析し、必要な情報を読み取ることが求められることがあります。しかし、その情報の読み取り方にはちょっとしたスキルが必要となります。

本講義では、実際の財務諸表の開示例に基づいて、企業会計における実務上の論点となりやすいポイントを解説し、財務諸表から必要な情報を読み取るスキルを習得することを目標とします。また、そのスキルを利用して、自分が選択した企業の財務諸表を分析し、それぞれの利用者の立場から考察してもらいます。例えば、キャピタルゲインを狙う投資家ならどのような情報を必要とするのか、M&Aで業態拡大を図る企業の対象会社として留意すべき点はどこにあるのか等、実際の財務諸表を使って自分自身で考えてもらいます。皆さんも、自分自身が財務諸表利用者となって財務情報を分析してみませんか。

### PAIBコース履修例

<2016年度入学生適用カリキュラム>

基本科目群	Basic Skills				Advanced Skills	横断・個別演習・修士論文・インターンシップ
	財務会計系	管理会計系	税務会計系	監査系		
基本科目群	上級簿記 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論		監査制度論 監査基準	企業法	会計専門職業倫理
発展科目群	会計基準論 財表作成簿記 会計事例研究 IFRS実務 会社経理実務	戦略管理会計論 コストマネジメント論 管理会計事例研究	上級税務会計論 上級税務戦略論		会社法 経営学理論 経営戦略論 インベストメント論 基本会計プログラム演習 実践会計プログラム演習	ソリューション・イン・アカデミック ソリューション・イン・プロフェッショナル ソリューション・イン・エキスパートイズ
応用科目群	英文会計論 国際会計事例研究	マネジメント・コントロール・システム論 国際管理会計事例研究	国際税務会計事例研究	内部監査論	法人税法 企業再生事例研究 リスク分析論	プロフェッショナル・インターンシップ・イン・ビジネス



唐 富娟  
1年次生/PAIBコース

私は中国出身の留学生です。中国の大学卒業後に日系企業で経理職として勤務したことがきっかけで、将来、会社の経営に関わる仕事をしたいという気持ちが大きくなり、日本への留学を決心しました。

関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)を選んだ理由は、著名な先生方や実務家の先生方が数多くおられ、多彩なカリキュラムの中には、個性を伸ばす個別演習科目があったこと、また、設備が充実していることから進学を決意しました。

入学してみて、本学ASには24時間利用可能な自習室やパソコン室があり、自習室は静かで、効率的に勉強ができる非常に恵まれた環境だと実感しています。また、PAIBコースでは、会計以外に、ファイナンスや経営、会社実務の授業など幅広く勉強できます。さらに、私は企業インターンシップに参加したことで、進路を明確に定めることもできました。そして、本学ASでは、日本人の学生との交流ができ、わからない問題があれば親切に教えてくれるなど、学習面でも、生活面でも非常に充実しています。

本学ASでは、有意義な学生生活を送ることができます。皆さんと共に学べることを楽しみにしております。

※プロフィールの学年・コースは取材時のものを掲載しています。

# RPコース

## Research Paper Course

### 関大ASで修士論文を書く

会計専門職としての知識を深めながらも、修士論文の執筆に関心のある学生のためのコースです。論文の執筆指導を通じて、論理的思考力の養成を支援します。

#### 講義紹介

#### 修士論文基礎

論文を書くためには努力と時間が必要ですが、論文を完成させるという経験を積むことで、論理思考力や文章作成能力が大きく上がります。そのため、修士論文の執筆は、専門職としての実力を養ううえで、非常に得難い経験になるでしょう。

論文を書き上げるためには、問題を立てて、調査を行い、その結果に対する分析をもとに、論理を展開させて結論に辿り着くという手順に沿って、執筆を進めていくことが必要です。ところが、これらの内容を一度に達成することは、なかなかできません。

そのため、修士論文基礎では、まず問題の立て方や、先行文献の収集方法など、修士論文を執筆するための足掛かりを作ることが目的になります。

#### ■RPコース履修例

<2016年度入学生適用カリキュラム>

	Basic Skills				Advanced Skills		横断・個別演習・修士論文・インターンシップ
	財務会計系	管理会計系	税務会計系	監査系			
基本科目群	上級簿記 上級財務会計論	上級原価計算論 上級管理会計論		監査制度論 監査基準	企業法		会計専門職業倫理
発展科目群	会計基準論 会計制度論	戦略管理会計論 企業分析論	上級税務会計論 租税法会計論	監査実施論 監査報告論	商法 会社法 金融商品取引法 経営学理論	資本市場論 会計論 ミクロ経済学 統計学	論文指導・修士論文(基礎)
応用科目群	資産会計論 負債・資本会計論 企業結合会計	マネジメント・コントロール・システム論		保証業務論 内部監査論	法人税法 公共経済学		論文指導・修士論文(実践) 修士論文

#### 修士論文実践

修士論文基礎で学んだ内容をさらに発展させて、論文を執筆するための調査および分析を行うことが、修士論文実践の目的です。本講義の受講者は、すでに修士論文基礎を通じて、様々な調査方法の概要を把握しているはずですが、実際にテーマを決めて書き始めると、必ずしもスムーズに進むとは限りません。

そのため、うまくいかない場合には立ち止まって、別の問題や仮説を作ってみるなどの試行錯誤を行うことが、修士論文実践の中心だと考えても良いかもしれません。この時期には、論文の作成がうまくいかないと感じることも多いようです。それでも、論文を執筆する過程で試行錯誤を経験することは、会計専門職として飛躍するための論理的思考力を鍛えるうえでの格好の機会だといえます。

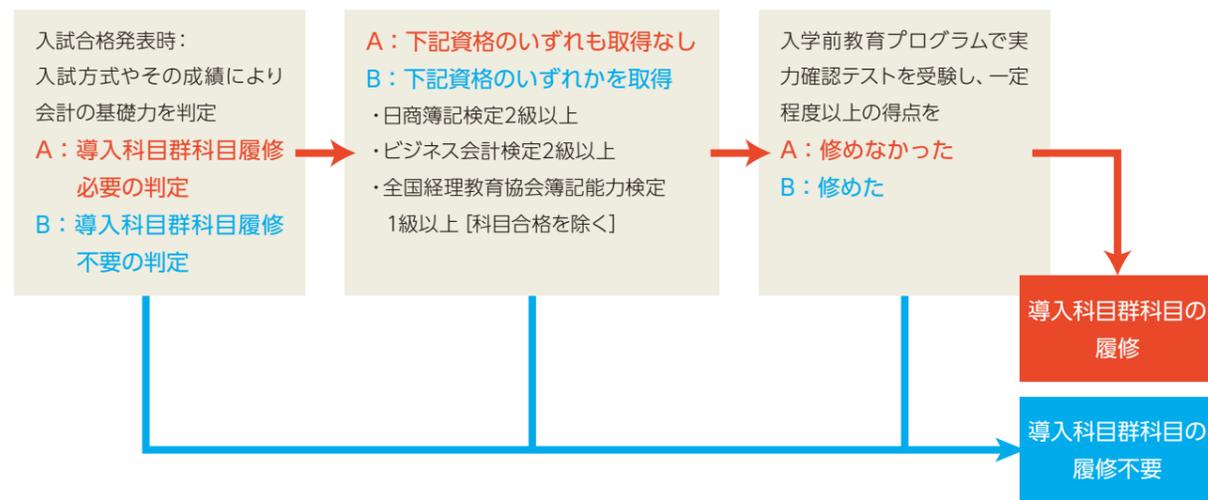
# 導入科目群科目

## Introduction Courses

本会計専門職大学院は、会計について基本的な知識を有していることを前提に、高度で専門的な知識を段階的に提供しています。しかし、入学生の中には、「超会計人」になるための素養は有しているものの、会計についての基本的な知識をまだ有していない方もいます。そこで、本会計専門職大学院では、これまで実施してきた入学前教育プログラムに加えて、特にこうした方を対象に、専門的な学習を行う前段階として、導入科目群(「中級商業簿記」「中

級工業簿記」の2科目)を設置し、入学後に提供しています。なお、導入科目群科目の履修対象者は、その単位修得まで、基本科目群科目(企業法、監査制度論、監査基準を除く)の履修は認められません。

#### 【導入科目群科目 履修決定のフロー】 Aの場合→へ Bの場合→へ



●会計の基本的な知識の習得については、本会計専門職大学院で合格後から入学前の期間に実施している入学前教育プログラム等でもサポートしていますので、積極的に活用してください。

#### 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

会計研究科においては、(1)高度な職業会計人となるために国際教育基準で求められる水準の確保、(2)公益を意識した職業倫理観の醸成、(3)会計・監査(保証)・税務業務の高度化・拡大への対応、(4)将来の幅広い進路選択を可能とするキャリア支援、を基本方針としてカリキュラム体系を編成している。これらの教育目標を達成させるべく、タテ糸として、本研究科での専門職教育を受けるための前提となる導入科目群、そのうえで会計専門職のために必須となる基本科目群、会計専門職としての実務適応教育を行う発展科目群、そして会計専門職として突出した専門分野を養う応用科目群を置き、ヨコ糸として、会計専門職としてのベーシック・スキルとしての会計系科目4系列(財務会計、管理会計、監査、税務)と、アドバンスト・スキルとしての非会計系科目5系列(法律、経営、ファイナンス、行政、経済・

IT)を配置している。これらの系統別科目に加えて、各系列に属さない専門職業共通の科目として横断科目、個々の学生に応じた学習指導及びキャリア・プランニングを可能とする個別演習指導、さらに研究指向の論文作成の指導も行える体制としている。学生は、これらのタテ糸系列の応用可能性とヨコ糸系列の広範・多様性を、自らが指向するキャリアに最適な組合せで習得することが可能となり、職業的監査人を目指す職業会計人(Professional Accountantコース)だけでなく、企業等の組織内での活躍を志望する会計人(Professional Accountant in Businessコース)、さらには研究者等の道(Research Paperコース)を採ることが出来る。

#### 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

会計研究科では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を、すなわち「会計心をもった超会計人」を養成する。「会計心」とは、専門的会計職業人としての職業倫理観及び豊かな会計的センス、高度な判断能力や思考能力を持ち合わせた健全な精神を意味する。そして、会計人とは、公認会計士を代表とする会計専門職のことであるが、「超会計人」とは、理論と実務に習熟し、自分の特長を生かして得意分野をもった、競争に勝てる会計専門職を意味する。すなわち、「会計心をもった超

会計人」とは、監査界、産業界、官公庁において、リーダー足りうる会計専門職であり、具体的にいえば、監査に強いだけでなく、(1)財務に強い会計人、(2)ITに強い会計人、(3)法律に強い会計人、(4)経営に強い会計人、(5)行政に強い会計人を養成する。本研究科では、以上の能力を身につけた「超会計人」に対して、「MBA in Accountancy(会計修士)」を与える。



米倉 大志  
1年次生/RPコース

私が関西大学会計専門職大学院(以下、本学AS)へ進学した理由は、学部時代に所属していたゼミの教授に大学院進学を勧めていただいたこと、また、会計に関する専門的知識を深めたいと考えたことからです。

本学ASでは、会計・法律等に関する様々な講義を受講することができ、基礎から応用まで、自分の興味に沿った知識を幅広く身につけることができます。

私が所属しているRPコースでは、自ら修士論文のテーマを設定し、そのテーマについて、約1年半かけて研究をしています。週1回の修士論文指導の授業において、研究の進捗を発表しあい、その都度、教授にきめ細かい指導をしていただけるため、論文作成が初めての方でも、安心して研究に臨むことができます。

本学ASは、教授との距離が近く、勉強や進路の悩み等、いつでも相談にのっていただける環境があることも魅力の一つです。入学を検討されている方は、ぜひ一度、本学ASに足を運んでみてください。

※プロフィールの学年・コースは取材時のものを掲載しています。

#### 租税資料館奨励賞 & 研究科長賞受賞者の声



西浦 真平 さん(2014年3月修了)  
▲写真は会計研究科長賞受賞の様子(2015年3月23日)

修士論文を執筆するうえで、関西大学会計専門職大学院は非常に魅力的です。

まず、先生との距離が近いことです。講義時間以外でも研究室に行けば、相談や質問に応じてもらえます。これは、学生の特権です。

次に、設備がとても充実していることです。例えば、図書館は関西有数の蔵書を誇り、パソコンからは世界中の文献を調べることができます。これらは、論文を執筆するうえで大きな助けとなりました。入学時に資格や基礎知識がなくても、2年かけて論文を書くことは可能です。私も執筆中は不安でしたが、先生を信じて最後までついていきました。その結果、無事に書き上げることができ、租税資料館奨励賞という賞を取ることもできました。また、国税審議会への研究認定申請を行い、税理士試験における税法科目の免除を受けることができました。

2年という時間は決して短くはないですが、修士論文という形で今後もずっと残ります。皆さんのこの挑戦が、きっとかけがえのない経験となることを確信しています。

## 学修支援

### 入学前教育プログラム

新学期からの学習に備えて、入学予定の皆さんが各自で入学前に一定の水準まで学習を進めることで、入学後の講義内容をスムーズに理解できることを目的とし、入学前教育プログラムを計2回実施しています。

第1回では課題内容および勉強方法の説明や在学生との懇談会を開催し、第2回では実力確認テストと客員教授による講演会をそれぞれ実施します。



### 課外講座

皆さんの学習をサポートするために、日商簿記検定1級試験の受験を支援することを目的とした「スキルアップ講座」、および在学生・修了生を対象に公認会計士試験受験を支援することを目的とした「CPA資格取得支援プログラム」という2つの課外講座を設けています。

#### 担当講師の声

当プログラムは公認会計士試験に必要なすべての項目が無理なく組み込まれており、受験指導経験の豊富な講師が個別指導に近い形で皆さんを指導します。この機会にぜひ受講してください。

### 梅田キャンパスでの授業開講

新設される関西大学梅田キャンパスで、会計専門職大学院の授業の一部を夜間の時間帯で開講します。自分のライフスタイルに合わせた科目履修が可能になります。また、梅田キャンパスで開講される会計専門職講座は、広く社会人にも開放しています。

※2016年度は秋学期のみ4科目開講  
〔税務と会計、労務と会計、実践内部統制、実践経営戦略(いずれも特殊講義)〕



(平成28年9月完成予定:完成イメージ図)

### 動画配信

基本科目などの特に重要な科目は必ず理解したいところですが、在学生は自分が受講している主要科目については、パソコンからその授業の動画を閲覧することができます。復習や確実な理解のためにぜひ利用してください。無料でかつ何度でも閲覧することができます。



### 各種試験

本会計専門職大学院の多種多様な開講科目は、各種試験(公認会計士、公認内部監査人試験、その他簿記や会計に関する検定試験等)に対応しています。また、修了時に一定の単位修得条件を満たせば、公認会計士試験短答式科目免除(財務会計論、管理会計論および監査論)を申請することができます。なお、日本証券アナリスト協会とプライマリープライベートバンカー資格試験において提携しています。公認会計士試験合格後の、実務補習単位の減免対象科目も設置しています。



#### 女性公認会計士との茶話会

本学学部生を対象に現役の女性公認会計士の方々と茶話会を行いました。女性ならではの会計士キャリアや公認会計士試験受験対策についてお話していただきました。



## 就職支援

本会計専門職大学院では、学内外の組織と連携しながら、様々な就職支援を行っています。

#### ●専門分野での就職を目指す人へ

本学OB・OGを含む現役の業界人の方々をお招きし、監査法人や税理士法人・コンサルティング業界説明会、証券アナリスト説明会等を開催しています。

いずれも、多岐にわたる業務の内容や採用情報について、現場で活躍されている方々の生の声を聞くことができる絶好のチャンスです。事前申し込みは不要の説明会ですので、専門スキルを活かして働きたいと考えている皆さんは自由に参加できます。

#### ●一般企業での就職を目指す人へ

本学キャリアセンター協力のもと、在学生を対象として就職活動ガイダンスを開催しています。

1年次生には就職活動の進め方を、すでに就職活動をしている2年次生には就職活動の動向や具体的な実践方法をそれぞれ指導する説明会となっています。

そのほか、一般企業からの求人情報を学生に提供したり、企業の採用担当者向けに本会計専門職大学院についての広報活動を行ったりする等の支援も実施しています。



#### 2015年度の業界研究セミナー開催一覧(実績)

開催日	内容	協力団体等	開催日	内容	協力団体等
6/2	監査法人	新日本有限責任監査法人	10/26	監査法人	あらた監査法人
7/14	一般企業・経理職	株式会社オービック	11/6	監査法人	有限責任監査法人トーマツ
10/13	監査法人	仰星監査法人	11/12	監査法人	有限責任あずさ監査法人

今後も、各種企業団体の協力を得て、就職支援のための業界研究セミナーを開催する予定です。

### 公認会計士試験合格者状況

#### 過去3年間実績

合格年度	合格者数	主な就職先
2013年度	11名(1名)	新日本有限責任監査法人、有限責任あずさ監査法人、
2014年度	13名(4名)	有限責任監査法人トーマツ、太陽ASG有限責任監査法人、
2015年度	9名(4名)	あらた監査法人、住友電気工業株式会社、阪急電鉄株式会社、他

※( )内は内数で、在学生合格者数を示す。



▲公認会計士試験合格祝賀会の様子(2015年12月19日)

### 就職状況

本会計専門職大学院では、在学生・修了生の就職支援を目的として、就職支援委員会を設置し、会計専門職大学院=公認会計士=監査法人というキャリアパスだけでなく一般企業を含めて、多様なキャリアパスへの支援を進めています。

#### 過去3年間の修了生の主な就職先

主な就職先		
● 宇部大同青果株式会社	● キューピー株式会社	● 東京国税局
● 株式会社産業経済新聞社	● 国税専門官(大阪国税局管轄)	● 日鐵住金建材株式会社
● 株式会社シーエーシー	● 財務省近畿財務局	● 扶桑薬品工業株式会社
● 株式会社高松コンストラクショングループ	● 新生フィナンシャル株式会社	● 丸三化学産業株式会社
● 株式会社肥後銀行	● 新日本有限責任監査法人	● 山田ビジネスコンサルティング株式会社
● 株式会社北越銀行	● 総合警備保障株式会社	他

# 施設紹介

The Facility

## 第2学舎 2号館 講義室・演習室

本会計専門職大学院の講義・演習等は、第2学舎2号館を中心に行われます。  
第2学舎2号館には、講義室12室、演習室20室、パソコン教室1室のほか、1階には食堂があります。



パソコン教室では「Team Mate®」「会計監査プログラム」等のソフトウェアを使った授業が行われます。



## 会計専門職大学院 自習室

### 院生自習室

本会計専門職大学院専用の自習室は、第2学舎2号館に設置しています。  
院生自習室1(自習机54席、125㎡)、院生自習室2(自習机90席、262㎡)、院生自習室3(自習机60席、138㎡)、計204席の座席を設けており、24時間の利用が可能です。  
院生自習室1・2に院生全員分の個人ロッカーを設置しており、自身の学習形態に合わせて自習室を有効利用することができます。



### 図書資料室・図書閲覧室

本会計専門職大学院生のための図書資料室・図書閲覧室(図書閲覧用18席、パソコン5台)を院生自習室と同フロアに設置し、会計、ファイナンスを中心とするコアジャーナルおよび最新の図書資料を配架しています。また、ITセンターの他に図書閲覧室に設置されたパソコンを利用して、企業財務情報データベースeol、税務・会計データベース、D1-Law.com 法情報総合データベースを検索することができます。



## 総合図書館

総合図書館は、地上3階・地下2階からなり、21,750㎡の総面積を持つ、大学図書館としてはトップクラスの設備と規模を誇る施設です。高槻キャンパス図書館、ミューズ大学図書館、堺キャンパス図書館を含め、蔵書数は220万冊以上あります。

## 第2学舎1号館(教務センター)

教務センター(会計研究科担当)があり、履修や修学・学生生活に関する相談・質問に対応します。



# 公認会計士試験合格者座談会

Round-Table Talk

様々な視点からの充実した授業。育まれる幅広い視野。

関西大学会計専門職大学院はあらゆる面でバックアップします。

公認会計士試験の合格者たちが学び舎に集合。  
公認会計士を目指したきっかけや、本会計専門職大学院を選んだ理由等を語り合ううち、いつしか楽しい思い出話に発展。笑顔あふれる座談会となりました。

座談会  
出席者

三島 徹也 教授



大西 靖 教授



# Round-Table Talk

植田 将弘さん Ueda Masahiro (2013年3月修了) (勤務先) 新日本有限責任監査法人

関西大学商学部を卒業後、2011年に関西大学会計専門職大学院に入学。2014年に新日本有限監査法人に入所。公認会計士を目指したのは、公認会計士であるゼミの恩師との出会いがきっかけ。在学中に受講した多種多様な講義で幅広い知識を学ぶことができ、それが現在の業務に役立っていると話す。



### 在学時の主な1日のスケジュール



山崎 優樹さん Yamasaki Yuki (2015年3月修了) (勤務先) PwCあらた監査法人

大阪経済大学経営情報学部を卒業後、2013年に関西大学会計専門職大学院に入学。2015年にPwCあらた監査法人に入所。大学時代のアルバイト先(会計事務所)の先生から「公認会計士に向いているんじゃないか」と言われたのがきっかけとなり、公認会計士を目指す。合格した秘訣は「負けず嫌いな性格」と「良い仲間に出会えたこと」をあげる。



### 在学時の主な1日のスケジュール



稲田 貴一さん Inada Kiichi (関西大学会計専門職大学院 1年次生)

関西大学商学部を卒業後、2015年に関西大学会計専門職大学院に入学。現在、1年次生。大学1年次生の時、監査法人の見学会に参加し、その時初めて公認会計士という職業を知る。その際、監査だけでなく企業の上場のサポートができ、税務に関わる点に魅力を感じ、公認会計士を志す。2015年8月、公認会計士試験論文式試験に合格。



### 主な1日のスケジュール



※プロフィールの学年・コースは取材時のものを掲載しています。

次ページへ

# 公認会計士試験合格者座談会

Round-Table Talk

Graduate School of Kansai University,  
School of Accountancy

きっかけは様々。  
仕事内容を知り、具体的な目標に。

—公認会計士を目指されたきっかけ、  
動機から話してください。

**【山崎】**大学1年次生のときに、簿記2級を取得し、3年次生のときには専門学校と大学とのWスクールをしていました。何より、ある会計事務所でアルバイトをしていたときに、公認会計士の先生から「公認会計士に向いているのでは」と勧められたのが大きなきっかけです。

**【植田】**将来ビジネスマンとして活躍する目的で関西大学商学部に入りました。簿記の勉強も始めましたが、公認会計士でもある先生のゼミに参加し、会計や経営の知識をもっと究めたいと思いました。また、本学のリードセンターでの講義を受け、公認会計士への興味がより一層湧いてきました。

大学4年で簿記1級を取得し、関西大学会計専門職大学院(本学AS)で知識を深め、そこから本格的に公認会計士を目指したいと思うようになりました。

**【稲田】**実は公認会計士の存在を知ったのは、大学に入ってからです。もともと将来は経営の仕事に就きたいという動機で関西大学商学部に入りましたが、簿記もあまり好きではありませんでした。夏休みにある監査法人の見学会に参加して初めて公認会計士の具体的な仕事内容を知りました。それが、目指そうと思ったきっかけです。

24時間利用可能な自習室、主要講義の  
動画配信など充実した教育環境。

—本学ASに入学されて、感想はいかがですか。  
また、専門学校との違いはありますか。

**【植田】**とにかく雰囲気がいいです。それに先生方も温かい方ばかりでした。授業で言えばいわゆる詰め込み教育でなく、一つの事例に対して何度もグループ全員で議論し合い、それぞれがプレゼンテーションを行う、双方向的な進め方が魅力だと思います。例えば事例研究の講義では一つのテーマについて調べ、発表者と質問者に分け、それぞれの争点



を明確化し進めていきます。理論を重視されているのですごく勉強になります。なぜこのような制度があるのか、といった根源的なところから学べるのが専門学校との大きな違いだと思います。

**【稲田】**有価証券報告書など、専門学校では触れません。普段の授業もそうですが、私にとっては「24時間自習室を利用」できるのが大いに役立ちました。専門学校ではそんな24時間利用可能な部屋はありませんし、本当にじっくりと勉強することができました。



**【山崎】**専門学校は一言で言えば「合格のための勉強の場」です。競争意識が芽生えるのはいいのですが、それだけに何かとサツバツとした雰囲気があると思います。それに対して本学ASは公認会計士だけを指す人ばかりではなく、税理士や国税局、一般企業を目指す人など、様々な目標を持った仲間がいます。そんな人たちと直接触れ合うことはいい気分転換にもなり、刺激にもなります。

—本学ASの具体的な特色、魅力という点はいかがでしょう。

**【植田】**授業の合間にパソコンルームを活用できるのもいいですし、主要講義が動画配信されるので理解できるまで何度でも繰り返し視聴することができます。

**【山崎】**普段の授業に加えて、そのサポートとしてスキルアップ講座を受講しました。このプログラムでは、幅広い科目が勉強でき、基礎知識からよりスキルアップした勉強につながり、大いに助かりました。

**【稲田】**プログラム演習でも体験したのですが、監査ソフトがすごく充実しています。これは本学ASの大きな魅力としてあげておきます。

本学ASでの経験がベースとなり、  
現在の仕事につながっている。

—現在取り組んでいる仕事に本学ASでの体験や経験は  
役立っていますか。

**【植田】**現在の仕事は監査業務が主体です。クライアントに往査するにあたり、事前に過年度分の書類にて予習し、往査時には、問題を抽出し、改善案等の提案をするように心がけています。そう

した経緯を踏み、クライアントから信頼を得たとき、公認会計士としてのやりがいを感じます。もちろん、本学ASでの授業が役立っているのは言うまでもありません。

**【山崎】**海外に親会社を持つ企業で、その日本の子会社の監査を担当することがあります。そんなとき、本学ASでIFRSの授業を受けたことが非常に役立ちました。これから英語力を一層鍛え、自身の強みの1つにしたいと考えています。

**【稲田】**現場での仕事に本学ASでの体験や経験がベースになっていることは多いと思います。相手との交渉だけに、単に技術だけではなく見えないところを大切にすることが重要です。そのような点も教えていただきました。日常的にも、相手とのコミュニケーションを保ち、相手の方の的確に説明できるようになったのも本学ASのおかげだと感謝しています。

公認会計士はやりがいのある仕事。  
決して諦めずにチャレンジを。

—最後にこれからの夢、目標と  
受験生へのメッセージをお願いします。

**【山崎】**製造、流通、サービス、薬品、学校法人など抱えているクライアントは多種多様です。やるべきことはいくらでもあります。それでも、自分が納得するまで監査の経験を積んでいくこと、それが目標です。将来はコンサルティング的な業務も手がけていきたいと思っています。受験生に対しては、合格するだけが目的ではありません。合格後も考えるならぜひ本学ASを目指してくださいと伝えたいです。

**【植田】**目標は監査を究めることです。その過程で複数の経験をし、先入観のない幅広い視野を持った公認会計士になりたいです。努力次第でいろんなチャレンジができ、これからの充実した人生を送るには最適な職業だと思います。公認会計士試験に合格すると、専門知識を必要とする職業選択が特に広がります。本学ASでは、いろんな視点からの考え方を学ぶことができます。どうか皆さん頑張ってください。

**【稲田】**公認会計士は、幅広いライフスタイルを支える重要な職業です。私自身、これからのいろんなことにチャレンジしながら自分に向いているものを探していくつもりです。受験生の皆さんも諦めず、チャレンジしてください。

—どうもありがとうございました。



# 教員スタッフ

## The Faculty

Graduate School of Kansai University,  
School of Accountancy

### 大西 靖 教授

Onishi Yasushi



#### ■ 担当科目

中級工業簿記、上級管理会計論、企業分析論、コストマネジメント論、ソリューション・イン・プロフェッショナル、論文指導・修士論文(基礎)、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

#### ■ プロフィール

- ・神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
- ・「マテリアルフローコスト会計の拡張可能性に関する研究」により博士(経営学)神戸大学の学位取得
- ・著書は『環境経営イノベーションの理論と実践』(中央経済社)(共著)。発表論文は「Implementing Material Flow Cost Accounting in a Pharmaceutical Company」(共著)、「マテリアルフロー指向のコストマネジメント:アメリカにおける環境管理会計の展開」ほか多数

### 坂口 順也 教授

Sakaguchi Jun-ya



#### ■ 担当科目

上級原価計算論、戦略管理会計論、ソリューション・イン・アカデミック、論文指導・修士論文(基礎)、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

#### ■ プロフィール

- ・神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
- ・「サプライチェーン・マネジメントが組織間管理会計に与える影響に関する研究」により博士(経営学)神戸大学の学位取得
- ・主な発表論文として、「Beyond the Contract: Managing Risk in Supply Chain Relations」(MAR)(共著)ほか多数

### 清水 涼子 教授

Shimizu Ryoko



#### ■ 担当科目

会計専門職業倫理、ソリューション・イン・プロフェッショナル、政府・自治体会計論、国際会計制度論

#### ■ プロフィール

- ・東京大学法学部卒業
- ・公認会計士、日本証券アナリスト協会検定委員
- ・みずぎ監査法人において約18年間勤務。途中、監査部門から公共セクター部に移籍。公共セクター部では、公的機関への監査及びコンサルティング、海外の公会計先進国の実務の調査研究業務等に従事
- ・国際会計士連盟公会計委員会日本代表委員等(04年1月~06年12月)、防衛省、財務省等政府関係審議会委員、兵庫県、堺市等地方公共団体関係審議会委員を務める
- ・主な著書として、「公会計の基礎知識—各国基準と国際公会計基準—」、「市町村のバランスシートがわかる本」(共著)、「地方公共団体の外部監査実務Q&A」(共著)ほか多数

### 加藤 久明 教授

Kato Hisaaki



#### ■ 担当科目

中級商業簿記、上級簿記、財作作成簿記、ソリューション・イン・エキスパート、論文指導・修士論文(基礎)、資産会計論、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

#### ■ プロフィール

- ・立命館大学大学院経営学研究科企業経営専攻博士課程修了
- ・「会計基準の在り方と設定の方向性に関する理論研究—アメリカにおけるリース会計基準の設定と論争の歴史的展開を踏まえて—」により博士(経営学)立命館大学の学位取得
- ・主な著書として、「現代リース会計論」(中央経済社)、「リース会計基準の論理」(税務経理協会)(共著)、発表論文として、「リース会計に対する新たなアプローチの特徴と問題点」、「リース会計基準の改定動向に関する分析と検討」ほか多数

### 柴 健次 教授

Shiba Kenji



#### ■ 担当科目

会計制度論、ソリューション・イン・エキスパート、論文指導・修士論文(基礎)、負債・資本会計論、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

#### ■ プロフィール

- ・神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程中退
- ・「市場化の会計学」により博士(商学)関西大学の学位取得
- ・日本会計教育学会会長、日本ディスクロージャー研究学会名誉会長、会計改革ネットワーク会長、日本会計研究学会理事、元税理士試験委員・公認会計士試験委員等
- ・91年「金融資産の証券化と資産の認識」により日本会計研究学会賞を受賞
- ・主な著書として「テキスト金融情報会計」・「市場化の会計学」(以上、中央経済社)、「外貨換算会計論」(大阪府立大学)、「自己株式とストック・オプションの会計」(新世社)

### 富田 知嗣 教授

Tomita Satoshi



#### ■ 担当科目

上級財務会計論、会計基準論、国際会計基準論、基本会計プログラム演習、ソリューション・イン・アカデミック、論文指導・修士論文(基礎)、会計戦略論、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

#### ■ プロフィール

- ・名古屋市立大学大学院経済学研究科経済政策専攻博士課程後期課程単位取得後退学
- ・「利益平準化のメカニズム」により博士(商学)関西大学の学位取得
- ・公認会計士
- ・主な著書として、「利益平準化のメカニズム」(中央経済社)、「倒産指数」(日本経済新聞社)、発表論文として、「新会計基準による連結予測利益の精度への影響」、「ITによる会計への影響—会計情報システムと法制度の考察—」ほか多数

### 松本 祥尚 教授

Matsumoto Yoshinao



#### ■ 担当科目

監査制度論、基本監査プログラム演習、ソリューション・イン・プロフェッショナル、保証業務論、論文指導・修士論文(実践)、修士論文

#### ■ プロフィール

- ・神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了
- ・金融庁企業会計審議会監査部会専門委員、日本監査研究学会理事、元日本会計研究学会幹事、元会計大学院評価機構評価員、前公認会計士試験試験委員(監査論)
- ・主な著書として、「ベーシック監査論」(同文館出版)(共著)、「2010年版 上場企業 監査人・監査報酬白書」(日本公認会計士協会出版局)(共著)、発表論文として、「Bright-Lines Accountingと職業会計士の役割—他人保証と自己保証—」、「内部統制監査の財務諸表監査への統合化」ほか多数

### 宗岡 徹 教授

Muneoka Toru



#### ■ 担当科目

インベストメント論、コーポレート・ファイナンス論、ソリューション・イン・エキスパート、国際財務戦略論

#### ■ プロフィール

- ・東京大学卒業、神戸商科大学大学院博士前期課程修了
- ・日本興業銀行で審査部、人事部、みずほ総合研究所主席研究員等。転職したソニーで年金企画部担当部長兼子会社執行役員。その後、関西大学大学院会計研究科教授(現)。(独)医薬品医療機器総合機構監事、文部科学省委託「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」プログラムコーディネーター等
- ・財務省「財政制度等審議会」委員、内閣府「経済財政諮問会議」委員、事業仕分け。日本証券アナリスト協会試験委員会委員(現)、養父市「新産業会議」委員、日本公認会計士協会公会計委員会委員等
- ・公認会計士、日本証券アナリスト協会検定委員、システム監査技術者等

### 特別任用教授

### 田中 久美子

Tanaka Kumiko



#### ■ 担当科目

監査基準、会計事例研究、監査事例研究

#### ■ プロフィール

- ・同志社大学大学院在学中、「継続は力なり」!と自分に言い聞かせ、公認会計士試験2次試験合格に向けて鋭意努力、3回目のトライで合格。就職難を乗り越えて、KPMGセンチュリー監査法人大阪事務所に入所。監査法人入所以来、日本国内の商社、製造業、学校法人等の監査に従事。その後2003年に中国広東省広州市に所在するKPMG広州事務所へ赴任し、単身赴任を経験。日系企業の現地法人等の監査はもちろんのこと、日系企業の中国進出支援、M&A関連、税務サポートに関して、主に現地でのコミュニケーションをサポート。2006年に帰国後KPMGあざさ監査法人で監査業務のみならず、M&A関連アドバイザリー業務に従事。2008年パートナー登用、2010年京都大学大学院でMBA取得。

### 玉置 栄一

Tamaki Eiichi



#### ■ 担当科目

資本市場論、ディスクロージャー実務、実践会計プログラム演習

#### ■ プロフィール

- ・関西大学経済学部卒業
- ・1979年公認会計士2次試験合格、監査法人中央会計事務所入所
- ・1983年公認会計士登録、1993年税理士登録
- ・1994年玉置公認会計士事務所開設
- ・ナニワ監査法人(現 ひびき監査法人)・ユニバーサル監査法人代表社員、日本公認会計士協会近畿会幹事、近畿公認会計士協同組合専務理事等を歴任

### 原 昭一

Hara Shoichi



#### ■ 担当科目

会社経理実務、特殊講義(経営と会計)、特殊講義(グローバル化と会計)、特殊講義(ERPと会計)

#### ■ プロフィール

- ・関西学院大学商学部卒業
- ・1972年に住友化学入社、経理部(20年)、海外勤務(3年)、関連事業部(9年余)を経て、2004年に住友精化へ転じ、2011年に取締役常務執行役員から顧問、2015年6月末顧問退任。住友化学では、経理実務のほか会社合併・撤退や連結経営に関わり、住友精化では、同社の事業規模拡大・グローバル化・ERP導入等を推進した。著書として「会計専門職大学院で学ぶ会社経理実務」(ユニウス)、論文としてインドネシアの固定資産再評価や企業の会計情報システム再構築に関する事例研究、大学・企業の研究会等における講演・発表テーマとして、事業再編、連結経営、リスクマネジメント、海外会社経営等がある。

●担当科目は、2016年度開講の各教員の担当科目を示す。 ●現職は2016年4月現在

# 教員スタッフ

## The Faculty

### 兼任教員

**馬場 英朗** Baba Hideaki  
 ●現職 関西大学商学部 教授  
 ●担当科目 非営利会計論

**吉田 友之** Yoshida Tomoyuki  
 ●現職 関西大学商学部 教授  
 ●担当科目 国際コミュニケーション論

**馬場 一** Baba Hajime  
 ●現職 関西大学商学部 准教授  
 ●担当科目 国際経営論

### 兼任教員

**浅野 信博** Asano Nobuhiro  
 ●現職 大阪市立大学大学院経営学研究科 准教授  
 ●担当科目 英文会計論/BATIC演習

**荒井 巖** Arai Iwao  
 ●現職 太陽有限責任監査法人  
 ●担当科目 起業・株式公開事例研究

**飯田 俊治** Iida Toshiharu  
 ●現職 新日本有限責任監査法人/公認会計士  
 ●担当科目 国際監査事例研究

**伊藤 進一郎** Ito Shinichiro  
 ●現職 プロティビティLLC 相談役  
 ●担当科目 特殊講義(企業経営を取り巻く会計の課題と方向)

**牛島 慶太** Ushijima Keita  
 ●現職 牛島慶太税理士事務所/税理士  
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**海崎 眞信** Umizaki Masanobu  
 ●現職 海崎公認会計士事務所 所長/公認会計士・税理士  
 ●担当科目 企業再生事例研究

**大浦 啓輔** Oura Keisuke  
 ●現職 立命館大学経営学部 准教授  
 ●担当科目 国際管理会計事例研究/マネジメント・コントロール・システム論

**岡村 肇** Okamura Hajime  
 ●現職 会計検査院第2局長  
 ●担当科目 会計検査制度論

**小澤 義昭** Ozawa Yoshiaki  
 ●現職 桃山学院大学経営学部 教授/公認会計士  
 ●担当科目 監査実施論/企業結合会計

**影山 泰久** Kageyama Yasuhisa  
 ●現職 新日本有限責任監査法人/公認会計士  
 ●担当科目 税務会計事例研究

**亀田 健二** Kameda Kenji  
 ●現職 関西大学 名誉教授  
 ●担当科目 行政法

**上林 憲雄** Kambayashi Norio  
 ●現職 神戸大学大学院 教授  
 ●担当科目 経営学理論

**岸本 達司** Kishimoto Tatsuji  
 ●現職 新世総合法律事務所/弁護士  
 ●担当科目 金融商品取引法/企業法判例演習

**肝付 晃** Kimotsuki Akira  
 ●現職 有限責任監査法人トーマツ/公認会計士  
 ●担当科目 国際会計事例研究

**金 志煥** Kin Shikan  
 ●現職 公認会計士  
 ●担当科目 公監査論/公会計・公監査事例研究

**小島 勝治** Kojima Katsuji  
 ●現職 株式会社インターリスク総研 マネージャー  
 ●担当科目 リスク分析論

**眞田 光昭** Sanada Mitsuaki  
 ●現職 弦巻ナレッジネットワーク代表/公認会計士・公認内部監査人  
 ●担当科目 実践監査プログラム演習

**嶋 えりか** Shima Erika  
 ●現職 中小企業診断士  
 ●担当科目 特殊講義(実践経営戦略)

**辻井 芳樹** Tsujii Yoshiki  
 ●現職 有限責任監査法人トーマツ/公認会計士  
 ●担当科目 公監査論/公会計・公監査事例研究

**筒井 万理子** Tsutsui Mariko  
 ●現職 近畿大学経営学部 准教授  
 ●担当科目 経営戦略論/経営組織論

**中丁 卓也** Nakacho Takuya  
 ●現職 アクア・アンド・カンパニー株式会社/公認会計士  
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**中溝 晃介** Nakamizo Kosuke  
 ●現職 松山大学経営学部 准教授  
 ●担当科目 XBRL論

**仲本 利明** Nakamoto Toshiaki  
 ●担当科目 特殊講義(実践経営戦略)

**沼田 博子** Numata Hiroko  
 ●現職 一般社団法人SRストレスチェック支援センター  
 ●担当科目 特殊講義(労務と会計)

**野田 敏男** Noda Toshio  
 ●現職 野田会計事務所/公認会計士/税理士  
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**長谷川 くにお** Hasegawa Kuniko  
 ●現職 有限責任監査法人トーマツ/公認会計士  
 ●担当科目 公監査論/公会計・公監査事例研究

**長谷川 卓也** Hasegawa Takuya  
 ●現職 有限責任監査法人 マネージャー  
 ●担当科目 IFRS実務

**林 紀美代** Hayashi Kimiyo  
 ●現職 林紀美代公認会計士事務所/公認会計士  
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**東良 徳一** Higashira Tokuchi  
 ●現職 大阪産業大学 教授  
 ●担当科目 国際税務戦略論/国際税務会計事例研究

**林 隆敏** Hayashi Takatoshi  
 ●現職 関西学院大学商学部 教授  
 ●担当科目 国際監査制度論、監査報告論

**古橋 孝志** Furuhashi Takashi  
 ●現職 株式会社ジョブマテリアルズ 代表取締役  
 ●担当科目 実践コミュニケーション

**古屋敷 博文** Furuyashiki Hirofumi  
 ●現職 古屋敷税理士事務所/税理士  
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**堀竹 学** Horitake Manabu  
 ●現職 大阪経済大学経営学部 准教授  
 ●担当科目 民法(総則・物権)、民法(債権)

**眞岩 研徳** Maiwa Akinori  
 ●現職 有限責任監査法人トーマツ/公認会計士  
 ●担当科目 公監査論/公会計・公監査事例研究

**榊井 康弘** Masui Yasuhiro  
 ●現職 榊井康弘事務所/公認会計士  
 ●担当科目 特殊講義(労務と会計)

**松浦 総一** Matsuura Soichi  
 ●現職 立命館大学 准教授  
 ●担当科目 上級税務戦略論

**松尾 貴巳** Matsuo Takami  
 ●現職 神戸大学大学院 教授  
 ●担当科目 管理会計事例研究

**松尾 隼正** Matsuo Nobumasa  
 ●現職 関西大学 名誉教授  
 ●担当科目 国際会計制度論

**三浦 徹志** Miura Tetsushi  
 ●現職 大阪経済大学経営学部 教授  
 ●担当科目 企業価値マネジメント論

**三原 秀章** Mihara Hideaki  
 ●現職 三原公認会計士事務所/公認会計士/税理士/社会保険労務士  
 ●担当科目 特殊講義(労務と会計)

**宮本 勝浩** Miyamoto Katsuhiko  
 ●現職 関西大学 名誉教授  
 ●担当科目 会計専門職業数学/ミクロ経済学/マクロ経済学/公共経済学

**宮森 直樹** Miyamori Naoki  
 ●現職 大塚メディカルデバイス株式会社 監査役/kisco株式会社監査役  
 ●担当科目 中小企業金融論

**村上 晴彦** Murakami Haruhiko  
 ●現職 村上晴彦税理士事務所/税理士  
 ●担当科目 特殊講義(税務と会計)

**村上 雅俊** Murakami Masatoshi  
 ●現職 阪南大学経済学部 准教授  
 ●担当科目 統計学

**守屋 光博** Moriya Mitsuhiro  
 ●現職 守屋公認会計士事務所所長/公認会計士  
 ●担当科目 内部監査論

**水野 淳** Mizuno Jun  
 ●現職 公益社団法人日本証券アナリスト協会 派遣講師  
 ●担当科目 特殊講義(証券アナリスト協会寄附講座・証券アナリストの基礎)

**八木 裕之** Yagi Hiroyuki  
 ●現職 HRM総研八木社会保険労務士事務所  
 ●担当科目 特殊講義(労務と会計)

**屋代 徳文** Yashiro Norifumi  
 ●現職 リソな総合研究所コンサルタント  
 ●担当科目 特殊講義(実践経営戦略)

**吉田 史朗** Yoshida Shiro  
 ●現職 S&Gビジネスデベロプション株式会社 代表コンサルタント  
 ●担当科目 特殊講義(実践経営戦略)

# 教育顧問・客員教授

## The Educational Adviser

関西大学会計専門職大学院における教育顧問は、

各界を代表する有識者の方々から本会計専門職大学院の充実・発展にかかる助言をいただくための組織です。

いただいた助言を運営に反映させ、教育・研究・社会連携の内容をより向上させていきます。

例年は、本会計専門職大学院セミナーとして教育顧問・客員教授等による講演会を行っています。

**教育顧問** **伊藤 進一郎 氏** プロティビティLLC相談役  
**客員教授** Ito Shinichiro 元 住友電気工業株式会社 代表取締役副社長

 一橋大学商学部卒業、金融庁企業会計審議会委員、金融審議会臨時委員、経済産業省企業財務委員長、企業会計基準委員会委員、公認会計士協会品質管理審議委員、経団連国際会計部会長、関西経済同友会常任幹事・経済委員長、関西経済連合会常任理事・税制部会長、監査役協会 有識者懇談会座長代理、会計大学院評価機構委員を歴任。現在、CFO協会相談役、内部統制研究会学評議員、日本企業を考える会(伊藤邦雄先生を囲む会)主幹

**教育顧問** **林 紀美代 氏** 公認会計士、税理士  
**客員教授** Hayashi Kimiyo

 ・関西大学商学部商学科卒業  
 ・1982年 朝日会社(現 有限責任あずさ監査法人)入所  
 ・1986年 公認会計士 登録  
 ・2009年 林紀美代公認会計士事務所開業  
 ・イワタニイコレクト(株)監査役(非常勤)、ナノフオン(株)監査役(非常勤)、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団監事、日本公認会計士協会近畿会幹事・会報部部長・経理部部長、大阪府公益認定等委員会委員(2015年8月まで)等歴任

**客員教授** **岡村 肇 氏** 会計検査院 第2局長  
**客員教授** Okamura Hajime

 ・東京大学法学部1類(私法コース)卒業  
 ・1983年 会計検査院採用  
 ・2004年 第5局郵政検査課長  
 ・2006年 会計検査院長秘書官  
 ・2008年 第4局上席調査官(農林水産担当)  
 ・2009年 第4局農林水産検査第4課長  
 ・2010年 第4局農林水産検査第2課長  
 ・2010年 事務総長官房法規課長  
 ・2013年 事務総長官房総務課長  
 ・2014年 事務総長官房審議官  
 ・2016年 事務総長官房総括審議官  
 ・2016年 第2局長  
 ・国家公務員採用II種試験(行政)試験専門委員等を歴任

**客員教授** **島崎 憲明 氏** IFRS財団アジアオセアニア オフィスアドバイザー、日本公認会計士協会顧問  
**客員教授** Shimazaki Noriaki

 ・1969年住友商事(株)入社、1984年～1992年ニューヨーク駐在、1998年取締役就任、2005年～2009年代表取締役副社長執行役員。2009年～2013年IFRS財団トラスティ  
 ・これまでに日本経団連で資本市場部会長、企業会計部会長を、金融庁で企業会計審議会委員、金融審議会部会長代理を歴任。現在は金融庁政策評価有識者会議委員、学校法人東京経済大学学外有識者理事、中央大学国際会計大学院アドバイザーボードメンバー、XBRL Japan会長、企業の社外取締役等を務める

**客員教授** **藤沼 亜起 氏** 元中央大学大学院 戦略経営研究科 特任教授(現同大学院フェロー)  
**客員教授** Fujinuma Tsuguoki

 ・中央大学商学部卒業  
 ・1969年堀江・森田共同監査事務所、1970年アーサーヤング公認会計士事務所、1986年朝日新和会計社、1993年～2007年太田昭和監査法人(現 新日本監査法人)  
 ・2000年～2002年 国際会計士連盟(IFAC)会長  
 ・2004年～2007年 日本公認会計士協会会長(現相談役)  
 ・2005年～2014年 IFRS財団評議員(2010年より副議長)、(現、IFRS財団日本アラムナイ・ネットワーク会長)  
 ・2008年～2015年3月 中央大学大学院戦略経営研究科特任教授  
 ・現在、上場会社等の社外取締役及び監査役を務める

**教育顧問** **小野 元之 氏** 学校法人 城西大学 理事・大学院センター所長  
**客員教授** Ono Motoyuki 独立行政法人 日本学術振興会顧問

 ・京都大学法学部卒業  
 ・2006年関西大学 教育顧問  
 ・1968年文部省入省、1985年北九州市教育長、1988年文部省地方課長、1993年文部省官房総務課長、1995年文化庁次長、1997年大臣官房長、2000年文部事務次官、2001年文部科学事務次官(2003年退官)  
 ・2003年日本学術振興会理事長、2011年日本学術振興会顧問(～現在)、2012年城西大学理事

**教育顧問** **増田 宏一 氏** 日本公認会計士協会相談役  
**客員教授** Masuda Koichi

 ・公認会計士、日本公認会計士協会相談役(元会長)、日本取引所自主規制法人理事、住友理工(株)及び(株)第四銀行の社外監査役  
 ・新潟大学人文学部在学中に公認会計士第2次試験合格  
 ・有限責任あずさ監査法人代表社員、金融庁・金融審議会、企業会計審議会等の専門委員、臨時委員、日本生産性本部評議員、財務会計基準機構理事、評議員会議長等を歴任

**客員教授** **後藤 研了 氏** 有限責任あずさ監査法人 代表社員・専務理事・大阪事務所長 公認会計士  
**客員教授** Goto Kenryo

 ・神戸大学経営学部卒業  
 ・1981年9月 監査法人朝日会社(現 有限責任あずさ監査法人)大阪事務所入社  
 ・1994年8月 朝日アーサーアンダーセン(株)へ出向(～2000)  
 ・1995年1月 アーサーアンダーセン米国ヘレレイニー出向  
 ・2005年5月 代表社員  
 ・2010年8月 理事  
 ・2013年7月 専務理事(現在に至る)  
 ・2015年7月 大阪事務所長(現在に至る)

**客員教授** **竹中 平蔵 氏** 慶應義塾大学名誉教授 東洋大学教授  
**客員教授** Takenaka Heizo

 1951年、和歌山県生まれ。博士(経済学)。一橋大学経済学部卒業後、73年日本開発銀行入行、81年に退職後、ハーバード大学客員准教授、慶應義塾大学総合政策学部教授などを務める。01年、小泉内閣の経済財政政策担当大臣就任を皮切りに金融担当大臣、郵政民営化担当大臣、総務大臣などを歴任。04年～06年参議院議員。現在、現職のほか公益社団法人日本経済研究センター研究顧問、アカデミーヒルズ理事長、株式会社パソナグループ取締役会長、オリックス株式会社社外取締役などを兼職。

**客員教授** **脇田 良一 氏** 博士(商学・早稲田大学)、明治学院大学名誉教授 名古屋経済大学大学院教授 金融庁/企業会計審議会委員・監査部会長  
**客員教授** Wakita Yoshikazu

 ・1980年 明治学院大学教授  
 ・1994年 大蔵省/公認会計士試験試験委員  
 ・1997年 大蔵省/企業会計審議会第2部会長  
 ・2000年 明治学院大学学長  
 ・2001年 金融庁/企業会計審議会委員・第2部会長、金融審議会委員  
 ・2004年 金融庁/公認会計士・監査審査会常勤委員  
 ・2010年 早稲田大学商学大学院教授  
 ・2011年 金融庁/企業会計審議会委員・監査部会長

●担当科目は、2016年度開講の各教員の担当科目を示す。 ●現職は2016年4月現在

# 入試概要

## Admissions Examination

### 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

会計研究科では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を養成することを目的とする。このため、簿記・会計の既修者を主たる対象として受け入れるが、簿記・会計の未修者であっても優れたセンスを有する人材については、積極的に受け入れる。入学試験としては、学内進学入試、指定校推薦入試、一般入試の他、国際的・社会的に幅広く人材を受け入れるという観点から、留学生入試及び社会人入試を実施する。具体的には、推薦入試として、勉強意欲の高い学生向けに学内進学入試と外部の指定校推薦方式を実施する。一般入試は、学力重視方式、素養重視方式、資格重視方式の3つから成る。学力重視方式では、簿記や原価計算といった基本的な会計に関する筆記試験を課すことにより、公認会計士等の高度職業

会計人を目指すための基礎的学力を確認する。素養重視方式では、小論文と面接により、会計人に求められる優れたセンスを確認する。資格重視方式では、一定の資格保有者を対象に、広い視野、柔軟な表現力、個性的な能力、経験を書類選考と面接により確認する。留学生入試は、本学所属の留学生別科向けに書類選考及び面接で実施するとともに、学外の留学生に対しては勉学の素養を確認するため素養重視方式と同様の方式を実施する。社会人入試では、書類選考と面接により、広く一般に実務の職にある社会人を受け入れ、なかでも社会保険労務士の資格を持つ者に対しては社会保険労務士会連合会による特別推薦入試を書類選考により実施する。

### 2017年度 入学試験日程

日程	7月募集	10月募集 <sup>*2</sup>	11月募集 <sup>*2</sup>	1月募集 <sup>*2</sup>	3月募集 <sup>*2</sup>
区分 <sup>*1</sup> (方式)	一般(資格・学力・素養) 学内進学(自己推薦) 指定校推薦 外国人留学生 社会人	一般(資格・学力・素養) 学内進学(自己推薦) 指定校推薦 外国人留学生 社会人	一般(資格・学力・素養) 学内進学 (自己推薦・商学部早期卒業) 指定校推薦 外国人留学生 社会人	一般(資格・学力・素養) 学内進学 (自己推薦・商学部早期卒業) 指定校推薦 外国人留学生 社会人	一般(資格・学力・素養) 学内進学(自己推薦) 指定校推薦
試験地 <sup>*3</sup>	大阪	大阪	大阪	大阪・東京	大阪
Webエントリー期間	2016年 6月23日(木)	2016年 9月23日(金)	2016年11月10日(木)	2017年 1月 6日(金)	2017年 2月16日(木)
入学検定料納入期間	2016年 6月30日(木)	2016年 9月30日(金)	2016年11月17日(木)	2017年 1月13日(金)	2017年 2月23日(木)
出願書類提出期間	消印有効	消印有効	消印有効	消印有効	消印有効
試験日	2016年 7月10日(日)	2016年10月 9日(日)	2016年11月27日(日)	2017年 1月22日(日)	2017年 3月 5日(日)
合格者発表日	2016年 7月15日(金)	2016年10月14日(金)	2016年12月 2日(金)	2017年 1月27日(金)	2017年 3月10日(金)

<sup>\*1</sup> 募集人員の内訳は、一般30名、学内進学15名、指定校推薦15名、外国人留学生5名、社会人5名とします。日程ごとの募集人員は設定していません。  
<sup>\*2</sup> 10月募集・11月募集・1月募集・3月募集については、飛び級を含みます。  
<sup>\*3</sup> 学内進学試験、指定校推薦は、すべての日程において大阪試験地のみ実施します。  
<sup>\*4</sup> その他入試として、留学生別科特別、社会保険労務士連合会特別推薦、外国人留学生特別推薦を実施しています。詳細については、それぞれの対象者へお知らせします。

### 2017年度 入学試験科目

区分	方式	試験科目
一般入学試験	資格重視方式	書類選考および面接
	学力重視方式	筆記試験(【簿記、原価計算、会計学】の3科目から2科目を選択)
	素養重視方式	小論文(社会・経済に関するテーマ)および面接
学内進学試験	自己推薦方式	書類選考および面接
学内進学試験(商学部早期卒業)		書類選考および面接
指定校推薦入学試験		書類選考および面接
外国人留学生入学試験		小論文(社会・経済に関するテーマ)および面接
社会人入学試験		書類選考および面接

### 長期履修学生制度

入学者の多様な学習ニーズに対応するため、2014年度から長期履修学生制度(3年コース・4年コース)を導入しました。この制度は、在学中に職業を有すること、またはその他の理由により、標準修業年限(2年)を超えて、3年または4年在学することを希望する人に対して適用します。いずれの場合も、最長在学年限は4年間

となります。なお、一定の条件を満たした場合、在学期間を1年間短縮することも可能です。

		1年次	2年次	3年次	4年次
3年コース	履修制限単位	24単位	24単位	24単位	
	履修科目	2年コースの2年次配当科目 (ただし、「会計専門職業倫理」は、3年次配当)			
4年コース	履修制限単位	18単位	18単位	18単位	18単位
	履修科目	2年コースの1年次配当科目 (ただし、「ソリューション・イン・アカデミック」 「論文指導・修士論文(基礎)」は、2年次配当)		2年コースの2年次配当科目 (ただし、「ソリューション・イン・アカデミック」 「ソリューション・イン・エキスパート」 「論文指導・修士論文(実践)」 「修士論文」は3年次配当、 「会計専門職業倫理」は4年次配当)	

### 2016年度 進学説明会等[大阪:関西大学千里山キャンパス 東京:関西大学東京センター]

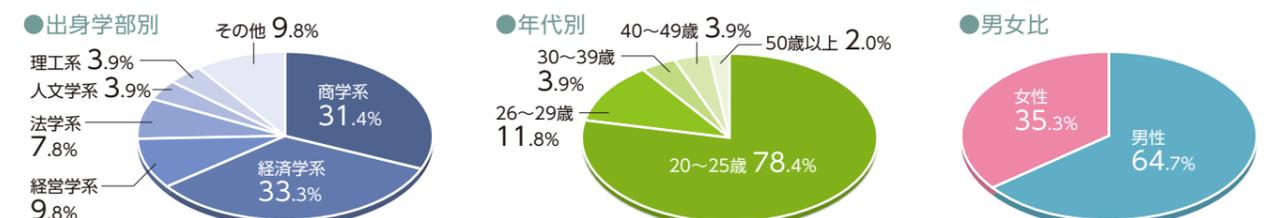
実施日程	会場	内容	時間
6月11日(土)	大阪	研究科概要・入試概要説明・模擬講義・在学生との懇談会・施設見学	13:00~14:55
9月24日(土)*	大阪・東京	研究科概要・入試概要説明・大学院入試対策講座(専門科目)・施設見学・個別相談	13:00~15:00
10月27日(木)	大阪	研究科概要・入試概要説明・個別相談	12:20~13:20
12月17日(土)*	大阪・東京	研究科概要・入試概要説明・修士生座談会・施設見学・個別相談	13:00~15:00
2017年 2月10日(金)*	大阪・東京	研究科概要・入試概要説明・大学院入試対策講座(小論文)・質疑応答	17:00~18:10

\* 関西大学千里山キャンパスと関西大学東京センターを同時中継し、同内容を双方向で放映します。  
 ○ 進学説明会等の日程については、やむを得ず変更することがあります。最新の情報は、ご来場前に関西大学会計専門職大学院ウェブサイトでご確認ください。

### 入学試験結果

	2014年度			2015年度			2016年度		
	志願	合格	入学	志願	合格	入学	志願	合格	入学
一般入試	38	35	23	32	21	16	52	47	29
学内進学試験	2	2	2	9	9	7	20	20	16
指定校推薦入試	1	1	1	2	2	2	3	3	3
外国人留学生入試	2	2	2	8	7	7	6	6	1
社会人入試	1	1	0	3	3	3	0	0	0
その他入試	1	1	1	1	1	1	2	2	2
合計	45	42	29	55	43	36	83	78	51

### 入学者データ(2016年度)



# 学費・諸費 / 奨学制度

Tuition/Scholarship

## 学費・諸費(2年コース)

会計研究科(会計専門職大学院)

2017年度入学者の学費は次のとおりです。長期履修学生制度(3年コース・4年コース)の学費については、学生募集要項でご確認ください。

種別	区分	入学初年度		次年度以降(年間)
		入学初学期	秋学期	
学費	入学金	260,000円		
	授業料	660,000円	660,000円	1,350,000円
諸費	校友会基本会費	10,000円		20,000円
合計		930,000円	660,000円	1,370,000円

注1) 関西大学を卒業した者、関西大学大学院を修了した者または本学学部生であって大学院会計研究科学則第26条第10号に規定する者(飛び級入試合格者)が、会計研究科(専門職大学院)へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注2) 関西大学留学生別科を修了した者または在学生が修了を待たずに引き続き学部または大学院へ進学する場合は、入学金(入学登録金)を半額とします。

注3) 諸費の校友会基本会費は入学時に10,000円、次年度に20,000円の計30,000円を委託により徴収いたします。なお、本学(大学院含む)出身者で、すでに納入済の方からは徴収しません。

## 奨学制度

関西大学では以下の奨学制度を設けています。これらに関するご質問は、関西大学学生センター奨学支援グループへお問い合わせください。その他、奨学制度についてのお知らせは決定次第、奨学支援グループウェブサイト(<http://www.kansai-u.ac.jp/gakusei/scholarship/>)にてお知らせします。外国人留学生(在留資格が「留学」の方)については、関西大学国際部へお問い合わせください。

### ① 関西大学大学院会計研究科(会計専門職大学院) 給付奨学金(2017年度予定)

対象者	給付金額・期間	初年度実質負担額
高度な資格取得者(学部卒業見込者、大学院修了見込者および関西大学留学生別科修了見込者)		
ア 公認会計士試験(論文式) 1科目以上合格者	年間132万円(授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円(入学金26万円+校友会基本会費1万円)
イ 公認会計士試験(短答式)合格者	年間132万円(授業料の全額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 27万円(入学金26万円+校友会基本会費1万円)
ウ 税理士試験1科目以上合格者	年間66万円(授業料の半額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 93万円(入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)
エ 日本商工会議所簿記検定1級合格者	年間66万円(授業料の半額相当額) 1年間※2 ※3	▶▶ 93万円(入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)
入試成績優秀者		
または	年間132万円(授業料の全額相当額) 2年間※1	▶▶ 27万円(入学金26万円+校友会基本会費1万円)
または	年間132万円(授業料の全額相当額) 1年間※3	▶▶ 27万円(入学金26万円+校友会基本会費1万円)
または	年間66万円(授業料の半額相当額) 1年間※3	▶▶ 93万円(入学金26万円+授業料66万円+校友会基本会費1万円)

※1 奨学生が受給資格を欠くと認められる場合は、給付期間を短縮することがあります。

※2 高度な資格取得者を対象とする給付奨学金(1年間全額または半額給付)に該当する者が、優秀な入試成績を修めた場合、入試成績優秀者を対象とする給付奨学制度により、1年間全額給付対象者を2年間全額給付対象者として、また1年間半額給付対象者を1年間全額給付対象者として採用する場合があります。ただし、両奨学制度の併給は認められません。

※3 1年次の学業成績により、2年次も採用となることがあります。

### ② 日本学生支援機構奨学金(2016年度現行)

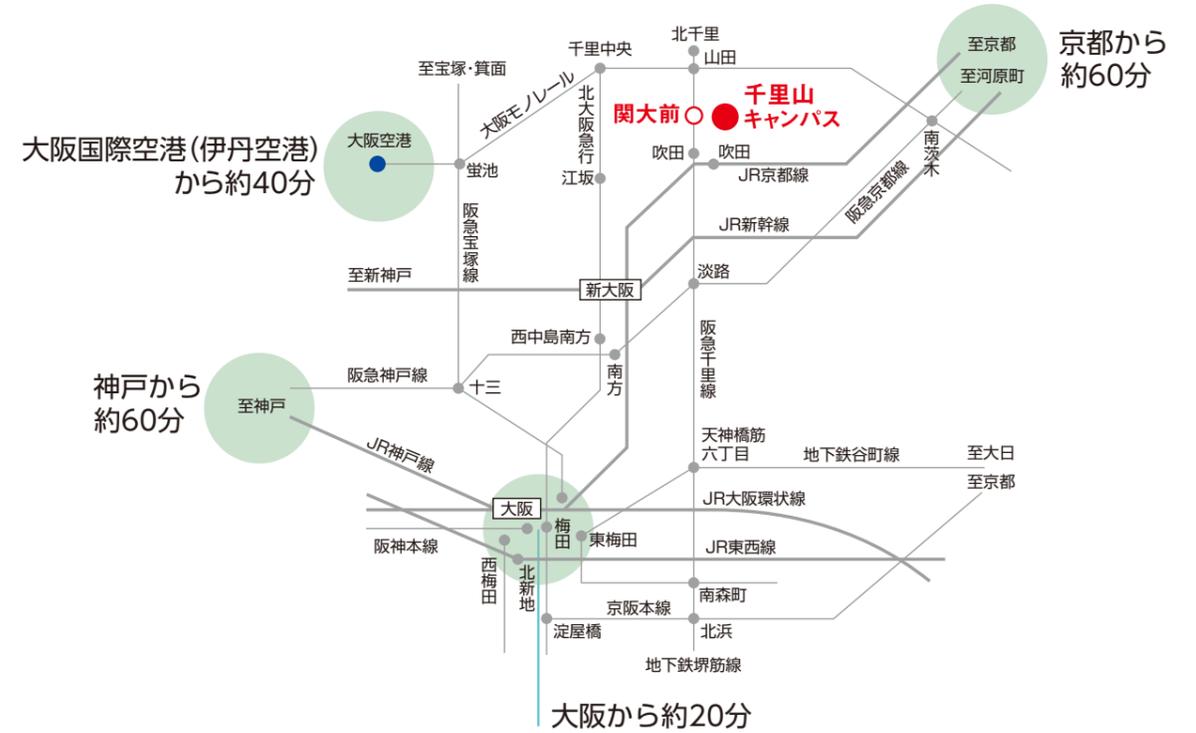
第一種奨学金(無利子)	貸与月額 50,000円、88,000円から選択
第二種奨学金(有利子)	貸与月額 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

※その他、民間団体の給付奨学金制度や日本政策金融公庫の「国の教育ローン」、株式会社オリエントコーポレーションとの提携による「学費サポートプラン」などの制度もあります。詳細につきましては、学生センター奨学支援グループまでお問い合わせください。

# アクセスマップ / キャンパスマップ

Access Map/Campus Map

## アクセスマップ



## キャンパスマップ



- ① 第2学舎2号館
- ② 第2学舎1号館(教務センター)
- ③ 総合図書館



## 関西大学 会計専門職大学院

[アカウントィングスクール]

お問い合わせ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
関西大学 入試センター 大学院入試グループ  
TEL:06-6368-1121(大代表)  
E-mail : grd-adm@ml.kandai.jp

最新の情報はウェブサイトをご覧ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/as/>

